

令和7年度米国における横浜観光レップ業務委託 特定結果

令和7年度米国における横浜観光レップ業務委託について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定しました。

1 件名

令和7年度米国における横浜観光レップ業務委託

2 委託内容

- (1) レップ実務
- (2) 事業報告

3 受託候補者

株式会社エイチ・アイ・エス
東京都港区虎ノ門四丁目1番1号
代表取締役社長 矢田素史

4 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社エイチ・アイ・エス	375	1

5 評価基準・評価委員会開催概要

- 評価基準
別紙参照
- 委員会開催日時及び開催場所
令和7年3月17日(月) 9時30分から10時15分
産業貿易センター 302会議室

【採点表】 令和7年度米国における横浜観光レップ業務委託 委託業者選定に係わる提案書評価基準及び配点

評価方法

- (1)出席した評価委員は、各評価項目について、次の配点により評価を行う。
 (2)提案書に評価項目に該当する記載がない場合は0点とする。
 (3)1項目でも0点と採点された評価項目がある場合（追加提案を除く）には、そのプロポーザルは特定されない。

評価項目	評価の視点	配点
実施方針		
(1) 事業概要・実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 横浜への訪日客の拡大に寄与できるかどうか。 米国からの訪問者の属性、カスタマージャーニーの把握を効果的に行えるかどうか。 	5
業務内容		
(2) レップオフィス機能の設置	<ul style="list-style-type: none"> カリフォルニア州に常設のレップオフィスを設置し、現地に適切な事業実施担当者を配置できるかどうか。 事業実施担当者がYCVB等への連絡や報告を日本語で行い、適切なコミュニケーションがとれるかどうか。 英語のネイティブスピーカーもしくは同等の言語能力を有する事業担当者が、ニュースレター等の情報発信やセールス活動を効果的に行うことができるかどうか。 	5
(3) 旅行会社やメディア等に向けニュースレターの作成と配信	<ul style="list-style-type: none"> ニュースレターを制作・配信し、適切な米国の旅行会社やメディア向けに横浜の魅力を発信することができるかどうか。 	5
(4) ツアーの造成	<ul style="list-style-type: none"> 横浜の観光促進に貢献するツアー例を半日、1日、1泊、それぞれ1個以上提案されているか。 米国人観光客の特性を考慮したバリエーション豊かな内容を持つツアーが提案されているかどうか。 造成したツアーが適切なセールス先に卸売り販売できる仕組みを構築できるかどうか。 	10
(5) 旅行会社へのセールス	<ul style="list-style-type: none"> 受託事業者が月に7回以上の頻度で、適切な米国の旅行会社へのセールス活動を行えるかどうか。 複数回セールスを行う有望事業者の選定方法が適切か。 セールス活動の成果やヒアリング内容を適切にYCVBに報告できるかどうか。 想定するセールス先は横浜市への誘客を期待できるか。 	15
(6) メディアへのセールス	<ul style="list-style-type: none"> 受託事業者が月に3回以上の頻度で、適切な米国のメディアへのセールス活動を行えるかどうか。 セールス活動の成果やヒアリング内容を適切にYCVBに報告できるかどうか。 想定するセールス先や露出内容は横浜市への誘客を期待できるか。 	10
(7) 現地商談会等への出席	<ul style="list-style-type: none"> 受託事業者が年に3回以上の頻度で、米国で開催される商談会等に出展できるかどうか。 出展後のフォローアップを適切に行い、現地旅行会社等とのネットワーク構築に貢献できるかどうか。 	10
(8) コンソーシアムやホストエージェンシーと連携したセミナーの開催	<ul style="list-style-type: none"> 受託事業者が現地旅行コンソーシアムやホストエージェンシー等にコンタクトし、現地旅行事業者を集めた横浜勉強会を開催できるかどうか。 実施方針は、効果的かどうか。 	15
(9) 招請の実施	<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社やメディア、インフルエンサー等を横浜に招請し、横浜への来訪意欲を高めることができるかどうか。 	10
(10) 現地市場調査・分析	<ul style="list-style-type: none"> 受託事業者が月例のレップ事業報告会で、今後の効果的なプロモーション方針の検討や市内事業者による現地へのセールス支援に役立てるための適切な調査分析結果を共有することができるかどうか。 	5
スケジュール・実施体制		
(11) スケジュール・実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 実施スケジュールが適切なものとなっているかどうか。 業務実施体制（統括責任者、各業務管理責任者、連絡担当者等）が適切なものとなっているかどうか。 	5
類似業務実績		
(12) 類似業務実績	<ul style="list-style-type: none"> 本業務の実施において十分な類似業務実績があるか。 	5
上記1～5までの合計点		100
追加提案		
(13) 追加提案	<ul style="list-style-type: none"> 本事業をより効果的なものにするための提案があるかどうか。 	10
総合点		110